

# 闘病中の君へ 笑顔配信

## 新潟のNPO

### 道化師 画面越し 風船芸

新型コロナウイルス禍で家族との面会もままならない小児がん患者らを元気づけようと、認定NPO法人「ハートリンクワーキングプロジェクト」(新潟市中央区)が、オンラインで観光やイベントなどを疑似体験してもらおうプロジェクトを始めた。副理事長の林三枝さん(68)は「日々のつらい治療に立ち向かう子供たちに勇気と笑顔を届けたい」と意気込んでいる。



カメラを通して子供たちに笑顔を届けるホスピタル・クラウン(5月26日、新潟市中央区長潟のハートリンク事務局で)

「これは何に見えるかな?」。新潟市中央区の「ハートリンク」の事務局で5月26日、入院中の子供たちに遊びや笑いを届ける「ホスピタル・クラウン(道化師)」3人が、緑の細長い風船をカメラに見せて語りかけると、パソコンの向こうで「キュウリッ」と明るい声が弾んだ。

オンラインでつながっているのは、県立がんセンター新潟病院と新潟大医学部総合病院で闘病中の3〜6歳ほどの子供たち。道化師が風船で花を作ったり、ジャグリングを披露したりすると、子供たちは画面に

ぎ付けになり、笑顔で手を振っていた。道化師を務めた会社員小林正和さん(37)は「画面越しのため、子供たちが反応してくれるが不安だった。笑顔になってくれてうれしい」とほほえんだ。

同NPOは、小児がん経験者を対象とした共済制度を実施するハートリンクか

ら派生する形で2011年に設立された。小児がん経験者の就労支援に取り組み、一方、月2回、ホスピタル・クラウンの派遣事業を続けてきた。

だが、新型コロナウイルスの感染拡大で昨年3月以降、派遣が困難な状態に。患者本人も外出・外泊、家族との面会が制限されるようになった。こうした状況に心を痛

めた林さんらは、年明けからオンライン配信の構想を練り始めた。機材購入費や通信費に充てるため、120万円を目標に3月3日から4月17日までインターネットで資金を募るクラウドファンディングを実施すると、目標の倍近い230万円が寄せられた。

タブレット端末4台、遠隔操作ロボット3台、高速大容量通信規格「5G」対応スマートフォン1台を購入し、第1弾として今回のライブ配信を実施した。今後は、新潟市水族館「マリニピア日本海」や遊園地などにタブレット端末を取り付けた遠隔操作ロボットを持ち込み、子供たちが遠隔操作でカメラを動かして臨場感のある映像を楽しむことができる取り組みを企画している。

文部科学省は15年4月から、高校生がテレビ会議システムの授業に参加したり、授業を録画したビデオを視聴したりすれば、授業に出席したと見なす制度をスタートさせた。当初は生徒の病室などに教員配置が義務づけられたため、利用が進まなかったが、19年11月から入院中の特例として教員配置が必須でなくなった。

現在、対象となる高校生はいないが、対応できるように準備を進めている。林さんは「子供たちにさらに寄り添い、何をしたら喜んでもらえるか考えていきたい」と話している。

## J2アルビも協力

小児がんと闘う子供たちを励ます活動に、サッカーJ2・アルビレックス新潟

が困難な状態に。患者本人も外出・外泊、家族との面会が制限されるようになった。こうした状況に心を痛めた林さんらは、年明けからオンライン配信の構想を練り始めた。機材購入費や通信費に充てるため、120万円を目標に3月3日から4月17日までインターネットで資金を募るクラウドファンディングを実施すると、目標の倍近い230万円が寄せられた。

タブレット端末4台、遠隔操作ロボット3台、高速大容量通信規格「5G」対応スマートフォン1台を購入し、第1弾として今回のライブ配信を実施した。今後は、新潟市水族館「マリニピア日本海」や遊園地などにタブレット端末を取り付けた遠隔操作ロボットを持ち込み、子供たちが遠隔操作でカメラを動かして臨場感のある映像を楽しむことができる取り組みを企画している。

文部科学省は15年4月から、高校生がテレビ会議システムの授業に参加したり、授業を録画したビデオを視聴したりすれば、授業に出席したと見なす制度をスタートさせた。当初は生徒の病室などに教員配置が義務づけられたため、利用が進まなかったが、19年11月から入院中の特例として教員配置が必須でなくなった。

現在、対象となる高校生はいないが、対応できるように準備を進めている。林さんは「子供たちにさらに寄り添い、何をしたら喜んでもらえるか考えていきたい」と話している。

の選手会も協力している。ハートリンクワーキングプロジェクトの取り組みに

賛同し、今夏から子供たちとのオンライン交流会を実施する予定だ。今季からホーム全試合チャリティートークイベントも開催し、長期入院中子供たちにプレゼント贈るための寄付を募っている。

クラブ広報は「選手会自発的に声を上げてくれた。サッカー以外でも地の皆さまに還元していきたい」と話している。

「走って良かった」聖火リレーに出場した表情を浮かべたファンシグマで、2004、北京五輪に出場した非常勤講師として、19964聖火ランナーを務めた父・亘から、聖火リレーで育ち、「いい」と思っている。

「走って良かった」聖火リレーに出場した表情を浮かべたファンシグマで、2004、北京五輪に出場した非常勤講師として、19964聖火ランナーを務めた父・亘から、聖火リレーで育ち、「いい」と思っている。

## 聖火便り

6日山形・南陽市



「走って良かった」聖火リレーに出場した表情を浮かべたファンシグマで、2004、北京五輪に出場した非常勤講師として、19964聖火ランナーを務めた父・亘から、聖火リレーで育ち、「いい」と思っている。